

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

## 報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	令和2年2月5日（水）～6日（木）
場 所	熊本県高森町・合志市
目 的	令和元年度行政視察のため

報 告 の 内 容	<p><b>1. 研修内容</b></p> <p>◎高森町 漫画を活用した地域づくり</p> <p>(1)観光入込客数の推移</p> <p>(2)くまもとメディアコンテンツコミッション協議会</p> <p>(3)エンターテインメント業界と連携した町づくり・地域産業創出に関するプロジェクト</p> <p>(4)阿蘇フォークスクールと南阿蘇鉄道高森駅の現地視察</p> <p>◎合志市 漫画を活用した地域づくり</p> <p>(1)合志マンガミュージアムの事業内容</p> <p>(2)マンガ関連施設の動向</p>
-----------------------	--

## 2. 所感（※議会・議員として、どう関わるか）

- ・ 今回の研修にあたり、高森町と合志市の研修先を提案した。また、高森町への事前質問を提示した。
- ・ 高森町や合志市との地域間連携をどう展開するか、湯前町がマンガ関連施設の第1世代(先駆者)である優位性をどう活かすか、町内産業とどう連携するか、課題の把握ができた。
- ・ 橋本館長から提案された湯前町の方向性『新聞マンガミュージアム』、文化庁アニメ芸術連携促進事業のモデル地区の対応は興味深い。今後の動向を注目したい。
- ・ 高森町と合志市は、コンセプトやビジョン、ターゲットを明確に設定していた。平成30年3月の一般質問「マンガの町づくり検証」でこの点を指摘しているが、未だに町の動きが見えない。令和2年3月の当初予算で追究する。
- ・ 高森町長のマニフェスト「新しいステージへ加速・続行」を教訓に、本町のマンガのまちづくり戦略を委員会などで調査し、提言に繋げたい。